

# 本書の使い方

本書は、事典としてキーワード (= シグナル因子) の詳細を理解するだけではなく、キーワード同士の関係性や生命現象全体のなかでの位置づけも把握できるように工夫されています。

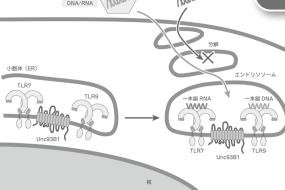
※索引も充実しており、主要な因子・経路・キーワードに索引から飛ぶこともできます。

# 1 主要因子・経路 を概観する 第1部

に詳しく知りたい  
のための、関連項  
表記



図表が豊富で  
わかりやすい

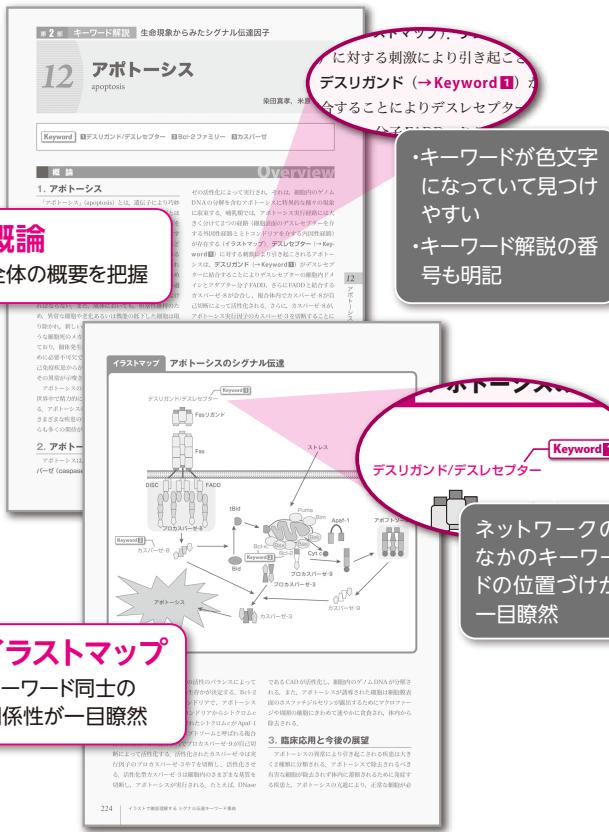


■ 植被認識 TLRは細胞内のエンドリソームで核酸を認識する  
病原性細菌のDNAは胞膜などを越えているので、分解に易易性で、エンドリソームへ到達できる。一方、細胞死などにより細胞膜外へ漏出されたDNAは、すぐに酵素で分解される。そこで、酵素を除外するのでエンドリソームに到達できない。したがって、TLR7、TLR9はエンドリソームにおいて細胞死由来核酸の認識できる

などにより迅速に分解されるため、エンドゾームへ到達しても病原にかかるわっていることが明らかになりつつある。

## 2 概論とイラストマップで 全体像をつかむ 第2部

## 概論

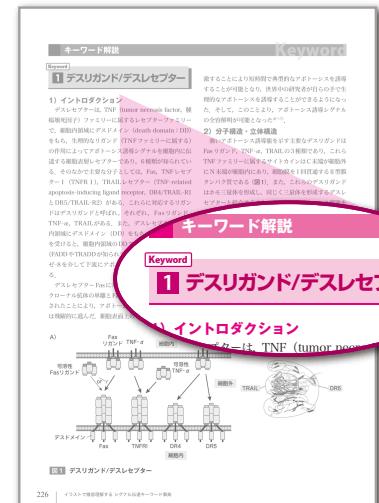


# 3 キーワード解説で各因子の 詳細情報をチェック 第2部

## キーワード解説

### Keyword

**1 テスリガンド/デスレセプター**



- ・重要情報をコンパクトに解説
- ・分子構造
- ・発現様式
- ・ノックアウトマウスの表現型
- ・機能と疾患とのかかわり
- ・抗体・cDNA入手先
- ・データベース